



2001年7月7日(土) - 9月24日(月)

第22回
企画展

人と自然のコミュニティスペース「里山」

SATOYAMA — Dialogue with Nature of Diversity —



photo by K. Obata Ibaraki Nature Museum

開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は4時30分まで)

休館日 毎週月曜日
(但し、9月24日(月)は開館、翌日は休館します)

入館料 大人 720円(580円)
高・大学生 440円(300円)
小・中学生 140円(70円)

※()は20名以上の団体料金です。
※未就学児・65歳以上・障害者手帳を持参の方は、入館無料です。
※この料金には、常設展・野外施設入場料が含まれています。
※第2、第4土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。
(但し、夏休み期間は除く)

後援：ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

会期中の記念行事

●記念講座「人と自然のコミュニティスペース～里山～」
7月15日(日)午後1時～午後3時

講師：佐藤留美氏(NPO birth事務局長)

●記念シンポジウム「森は海・川を元気にする」
8月5日(日)午後1時～午後3時

基調講演：「森は海の恋人」と呼んだワケ」

講師：島山重篤氏(杜鰍の森を営む会代表)

パネルディスカッション

パネラー：鈴木昌友氏(茨城大学名誉教授)

鷲谷いつみ氏(東京大学教授)

五木田悦郎氏(自然友の会会長)

●自然観察会「里山を歩こう」

9月15日(土)午前9時30分～午後12時30分

講師：廣瀬誠氏(茨城県自然観察指導員)

*上記イベントは全て事前申込制となっております。

次回企画展 茨城の自然を見つめるⅡ—第2次総合調査報告—
2001年10月13日(土)～2002年1月14日(月)



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 ☎0297-38-2000

ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

人と自然のコミュニティスペース「里山」

SATOYAMA —Dialogue with Nature of Diversity—



炭焼き

里山ってどんなところ？

「里山」という言葉を聞いたことがありますか。「里山」は、雑木林や田んぼを中心とした人とかかわりが深い自然環境を意味します。里山は、かつてはごくあたりまえにみられた、日本人にとっての原風景でした。しかし、里山の大半は開発によって失われるか、誰にも手入れされることがなく荒れはてるばかりです。果たしてそれでよいのでしょうか？

人と自然のコミュニティスペース

里山は、多種多様な生物が生存できるたいへん豊かな自然です。また、同時に、人びとがふれることのできる身近な自然でもあり、人と自然が共生していくための魅力的なフィールド“コミュニティスペース”です。私たちは、このかけがえのない自然財産を後世に残し、伝えていくことを提案します。

これからの里山は…

今回の企画展では、自然の宝庫と呼ばれるにふさわしい豊かな里山の自然や、様々な人とかかわりなど、その魅力を存分に紹介します。そして、21世紀の里山はどうあるべきか、里山に見いだされた新たな価値や里山の存在意義について、みなさんとともに考えていきたいと思っています。

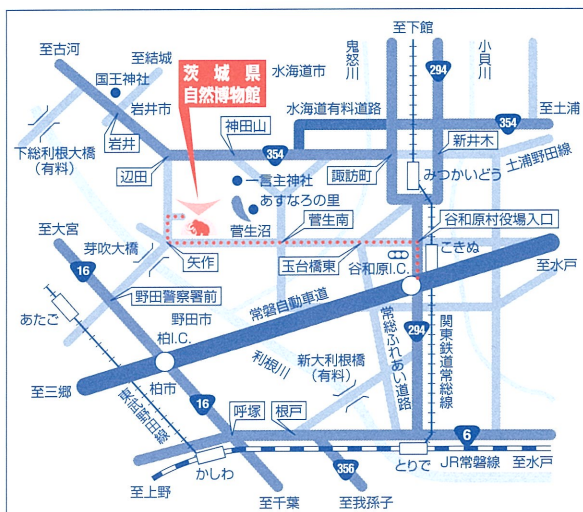


カブトムシ



キンラン

里山の風景（岩井市）



交通ご案内

- 車利用の場合
常磐自動車道谷和原I.C.から20分
- 鉄道・バス利用の場合
JR柏駅で東武野田線乗り換え、東武野田線愛宕駅～茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分

主な展示内容

- ◆ **里山とは**
里山ってどんなところ？/
里山と農業／里山のめぐみ
- ◆ **里山の生きものたち**—里山は自然の宝庫—
雑木林の生きもの／田んぼの生きもの/
いつのまにか里山の住人
- ◆ **里山は、いま…**
これでいいのか、雑木林！/
最近見られなくなった生きものたち
- ◆ **里山とともに**
里山を保全する／里山の新しい価値とは？/
里山で自然体験